

さくらぎ

No, 7

(桐生市立桜木中学校 学校だより) 平成29年 6月14日

6月の全校集会から

(6月14日実施)

けっして～できない～ とは言わない人になろう

皆さんの中には、何かに挑戦する前に諦めてしまう人がいないでしょうか。これからの社会はますます大変な世の中になってきます。そんなこれから生きていくために必要な力はどのようなものだと考えますか。私は、これまでの経験から次の四つの力が必要だと考えています。

- ①「Keep on changing.」 変化し続けること。
- ②「Keep on moving.」 行動し続けること。(感動する)
- ③「Keep on believing.」 自分を信じ続けること。
- ④「Never say can't.」 けっして「できない」とは言わないこと。

まず、私たちは「これでいい。このままでいい」と思ってしまったら進化はストップしてしまいます。ですから、常に前向きに変化・成長し続けることが大切になるのです。

そして、もう一つ大切なことは、「やりたくない」の言いわけとして「**できない**」を使わないことです。皆さんが、自分の夢の実現のために、何事も恐れずに、今示した四つの力をしっかりと発揮してくれることを期待します。

平成29年度 **全桐生ソフトテニス選手権大会**

(5月20日実施)

中学男子の部 第5位 新藤 瑠斗(2年) 中村 圭太(2年)

生徒総会が開催されました。

(5月26日実施)



生徒総会が開催されました。平成28年度の行事報告・会計決算報告、平成29年度の行事予定・会計予算案が議決されました。その後、「よりよい関係を築いていくために」「桜木中のいじめ防止活動～いじめを起ささない環境作り～」についての、熱心な話し合いが繰り広げられました。

生徒会本部役員・生徒の皆さん、桜木中学校の良い伝統を引き継ぎ、さらに磨きをかけてほしいと思います。

JRC登録式が行われました。

(5月26日実施)

(J unior・R ed・C ross)

青少年赤十字の一員としての意識を高め、その活動の理解を深めることを目的に、JRC登録式が行われました。

創設者(赤十字の父)アンリー・デュナンの精神のもと、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げ、また、主体性を育むために「気づき」「考え」「実行する」という態度目標を掲げています。

各クラスの代表が署名し、1年生全員にバッチが手渡されました。(2・3年生には配布済みです。)



教育実習開始

6月5日(月)から23日(金)までの3週間、教職を志す大学生の教育実習が行われています。今年度は、以下の方々ですので、ご紹介します。

実習生	教科	大学名	所属クラス	担当
阿部まどか	保健体育	立教大学 (コミュニティ福祉学部)	2-1	鈴木先生 一宮先生
櫻井あかり	英語	創価大学 (教育学部)	2-3	福澤先生 植松先生

今後役に立つように、がんばることを期待するとともに、生徒の皆さんも学習面や運動面などの様々なことを学んでほしいと思います。

プール開き

(6月2日実施)

待ちに待ったプール開きが行われました。

初めに、地区役員・学校医・薬剤師・PTA役員・教職員によるプール管理委員会が開催され、安全等の確認を行いました。その後、プールサイドに移動し、生徒会本部役員も加わりプール開きのセレモニーが行われ、水泳部の生徒が代表として、今年の初泳ぎをさわやかに披露してくれました。



修学旅行 (3 学年) 奈良・京都方面

(6月6・7・8日実施)



(北野天満宮)

修学旅行の目的は、現地に足を運び、実物を目で見て、空気につれることでしか得られない感動や驚きを味わうということが大きいのではないのでしょうか。とはいえ、楽しみは、仲間との行動、計画通りにいかない場面や夜の宿などであり、いろいろな面で生徒達には様々な思い出が残ったことと思います。また、中学生時代に有名なお寺を見ても、その良さや歴史観などを深く理解するまでは難しいところもあると思います。が、大人になってから再び訪れてみると、なつかしい思い出や文化や歴史にふれることができると、私は思っています。もちろん、無事に帰って来れたことが一番のお土産です。

互いにきまりをしっかり守り、楽しい修学旅行ができました。

校外学習 (2 学年) 東京方面

(6月15日実施予定)



(国立科学博物館)

東京校外学習は、旅行の計画の立て方やグループでの活動の在り方などを勉強するとともに、3学年での修学旅行がスムーズに行くようになるための事前学習にも位置付けています。グループそれぞれに目的がありますが、仲間と協力して楽しい校外学習にしてほしいと思います。

*6月6日をもって、川島先生が、産休のため学校を離れることになりました。

お世話になった先生に感謝の気持ちを忘れず、これからもがんばりましょう。

・川島 美和先生より(産休のため)

2月、皆さんに赤ちゃんのことを話してからもう4ヶ月になろうとしています。高齢出産に挑む私ですが、おかげさまで無事8ヶ月を迎えることができました。思い通りに動けない日々も、皆さんの協力や応援で元気に過ごせています。ありがとうございます。まだまだ一緒に仕事をしたい、学びたい気持ちでいっぱいですが、しばらくは「出産！」を目標に、そして育児を頑張りたいと思います。大変お世話になりました。

*川島先生におかれましては、元気で丈夫な赤ちゃんを産んでください。大変お世話になりました。

*川島先生の産休補助として、6月7日より、昨年同様、本田有紀先生をおむかえしました。

